

令和5年度 農作物病虫害発生予察4月月報

令和5年(2023年)5月1日
山口県病虫害防除所
山口県農林総合技術センター

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
4.1	15.5	11.8	3.7	22.6	18.0	4.6	8.8	6.1	2.7
4.2	13.4	12.7	0.7	19.2	19.0	0.2	7.4	7.0	0.4
4.3	14.7	13.6	1.1	20.7	19.8	0.9	8.7	7.8	0.9
4.4	16.3	14.4	1.9	23.1	20.6	2.5	11.0	8.7	2.3
4.5	14.5	15.2	△ 0.7	20.7	21.3	△ 0.6	10.0	9.4	0.6
4.6	16.0	16.2	△ 0.2	21.3	22.3	△ 1.0	10.9	10.3	0.6
平均・計	15.1	14.0	1.1	21.3	20.2	1.1	9.5	8.2	1.3
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
4.1	18.0	24.8	△ 6.8	41.1	28.7	12.4			
4.2	24.0	25.7	△ 1.7	39.2	29.4	9.8			
4.3	73.5	27.5	46.0	29.5	30.2	△ 0.7			
4.4	10.0	29.9	△ 19.9	31.7	30.7	1.0			
4.5	61.0	30.4	30.6	24.0	31.4	△ 7.4			
4.6	65.5	29.6	35.9	35.3	32.3	3.0			
平均・計	252.0	167.9	84.1	200.8	182.7	18.1			

II 作物の生育状況

- (1) コムギ : 出穂期は、概ね平年より早くなった。出穂前後に気温は高く推移したが、播種時期による生育量のばらつきが見られ、開花期は平年に比べやや早～並であった。
- (2) ナシ : 開花始めは、平年に比べ7日程度早かった。一部産地では4月16日の降雹等による被害が確認された。
- (3) イチゴ : 生育は順調に推移しており、出荷量も増加している。現在、5番果収穫、6番花が出蕾・開花している。5月末まで出荷が続く見込みである。
- (4) タマネギ : 生育は平年に比べかなり早く、草丈、生葉数とも平年を上回っている。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2023年4月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ イネミズゾウムシ	4月1日～4月24日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は0頭(平年0.1頭)で平年並みであった。	—	—
コムギ (調査ほ場数:17) 赤かび病 さび病類	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
うどんこ病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.2%)、発病葉率0%(平年0.4%)、発病面積率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
黄斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率5.9%(平年21.2%)、発病茎率5.9%(平年9.6%)、発病度1.6(平年2.6)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率17.6%(平年24.5%)、発病茎率17.7%(平年16.5%)、発病度4.9(平年4.7)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 275

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀:9)	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7%(平年1.3%)、発病葉率0.1%(平年0.0%)、果そう基部発病率0.3%(平年0.0%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 11
赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年2.1%)、発病葉率0%(平年0.2%)で平年並みであった。 周南市の巡回ほ場において、番外で発生が認められた。	周南市	少 1
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0%(平年6.1%)、寄生葉率0.8%(平年0.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 32
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3%(平年4.8%)、寄生新梢率0.4%(平年0.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 22

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ナシ チュウゴクナシキ ジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、寄生葉率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
ナシヒメシンクイ	フェロモントラップ(萩市小川、4月1日～4月30日合計)における誘殺数は48頭 (平年109.3頭) で平年に比べやや少なかった。	—	—
キウイフルーツ (調査ほ場数：3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年14.3%)、発病葉率0% (平年1.0%) であった。	—	—

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イチゴ (調査ほ場数：18) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2% (平年23.0%)、発病株率5.3% (平年4.9%)、発病葉率2.0% (平年1.6%)、発病果率0.1% (平年0.8%) で平年並みであった。	県内全域	中	10
			少	10
			計	20
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率44.4% (平年20.1%)、発病株率4.9% (平年1.6%)、発病果率0.8% (平年0.4%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	5
			中	5
			少	30
計	40			
菌核病	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—	
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2% (平年19.8%)、寄生株率3.7% (平年3.7%) で平年並みであった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少	20
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2% (平年52.3%)、寄生株率6.8% (平年24.8%) で平年に比べ少なかった。主要種はナミハダニであった。	県内全域	多	5
			中	5
			少	10
計	20			
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年35.4%)、寄生株率1.0% (平年10.7%) で平年に比べ少なかった。主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	少	10
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率94.4% (平年50.2%)、寄生花率24.9% (平年10.0%) で平年に比べ多かった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	甚	40
			多	15
			中	15
			少	15
			計	85

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
タマネギ (調査ほ場数：中旬 28、下旬24) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率28.6% (平年15.1%)、発病株率14.7%(平年 2.9%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0% (平年26.9%)、発病株率17.3%(平年 9.2%)で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 6 多 13 中 19 少 76 計 114
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年4.1%)、発病株率0%(平年0.3%)で平 年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.8%)、発病株率0%(平年0.2%)で平 年並みであった。	—	—
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1% (平年12.0%)、発病株率0.1%(平年 0.6%)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年9.9%)、発病株率0%(平年0.6%)で 平年に比べ少なかった。	県内全域	少 13
ボトリチス属菌に よる葉枯れ症(白斑 葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.4%)、発病株率0%(平年0.0%)で平 年並みであった。	—	—
さび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.7%)、発病株率0%(平年0.1%)で平 年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.5%)、発病株率0%(平年0.1%)で平 年並みであった。	—	—
軟腐病 萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率10.7% (平年10.9%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.8% (平年22.4%)で平年並みであった。	県内全域	少 35

お問い合わせ先
山口県病害虫防除所
TEL (0835)28-1211
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp